



生活者ネットワークは、在宅で介護をしている家族の精神的疲労を軽減するために一時的にケアを代替するサービスや、介護者家族の交流の場となる「ケアラーズカフェ」の必要性を提示してきました。地域ぐるみで支えあう介護のまちづくりをめざします。



▲2017年3月NPOが企画した認知症模擬体験のワークショップに参加して

一人にしない子育て・子育ち

迷いながらの子育ては多くの人が経験しています。その時の安心は「話をしたことで、多くのヒントをもらうことができた」との声です。まずは「不安の解消」、次に問題がどこにあるのか、どのように寄り添うのかの支援体制をつくることが必要です。

今、子どもの貧困が深刻な社会問題です。子どもへの緩やかな支援として各地で「子ども食堂」などの取り組みが盛んです。生活者ネットワークは、課題に則した支援NPOなど民間の力を借りて当事者と共に取り組むことの重要性を提起、これからも子どもの育ちを応援する自治体の施策と東京都の支援を求めていきます。



伊藤 久雄
認定NPO法人
まちばっど
理事

「改革者」を名乗って首長になったものは、往々にして暴君になります。石原しかり、橋下しかり。小池知事を生活者の側に繋ぎ止めるためには、生活者ネット4人の全員当選がどうしても必要です。豊洲、子育て・高齢者支援、オリンピック・パラリンピックなど、山積する課題に果敢に挑戦することを期待します。



池田 敏子
元都議会議員

小池都知事と連携し、 都政改革をさらにすすめます

これまで生活者ネットワークは、情報公開や市民参加などさまざまな都政改革をすすめてきました。今回の都議会議員選挙に向けては、都民ファーストの会と、「情報公開、再生可能エネルギーの利用促進、男女共同参画社会の構築」の三項目で一致、政策協定を結び推薦を受けました。生活者ネットの政治姿勢、政策は変わりません。当選後的小池知事との関係は合意できるものは共に進めますが、同時に生活者の視点で都政をしっかりチェックしてまいります。



東京都議会議員選挙の投票日は

7月2日

*期日前投票は
6月24日～
7月1日



山内れい子のプロフィール

1955年生まれ ■ 74年都立上野高等学校卒業
■ 79年上智大学文学部卒業 ■ 05年国立市基本構想審議委員会委員・まちづくり活動に参加 ■
09年都議会議員初当選。文教委員会副委員長 ■
13年2期目当選。財政委員会、オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会 ■ 都議会生活者ネットワーク政調会長 ■ 国立市在住

山内れい子さんを応援します！

新しい女性都知事の「都政改革・都民ファースト」が喝采を浴びています。この言葉を私たち生活者ネットワークの言葉に置き換えると「東京の自治、市民自治」でしょうか。そこに市民参加がなければ舞台と観客が分かれて座る劇場でしかありません。生活者ネットが都政を開けてきた風穴の意味を、都議選を機に積極的に知らせることが大事です。雨だれが岩を穿ち、鍾乳石筍を育むように、その継続した力が生活の基礎を築く基本であることを。知らないうちに危ない社会に変わらないように。時代は暮らしがつくるのですから。